

2023 冬のセミナーのご案内書

知能傾向を知ると

どの人にも知能傾向というのがあって、思考や判断を行う際に得意な知能を使ってやり遂げようとしてします。自動的に慣れた方法を選択するので考えることを意識させません。頭を効率的に使っているからです。

この知能傾向に偏りがあったり苦手があると良い結果が現れません。例えば、図形が弱いと観察力が劣ります。ですから「あれ？何か変だ」と気づく事もなく突き進んでしまい痛い目に会うのです。また、細かい作業が苦手で大雑把になりやすく、食器を片付けさせても向きや大きさを斟酌しない。ただ、これに関しては図形が強くて合理性からそうする場合もあるのです。

偏りに関して例を挙げると、認知が良いと理解力が上がりますが、他の能力以上に強くなると評価がなおざりになります。「自分はこの事をわかっている」と過信すると認知先行で評価をしなくなるのです。反対に評価に偏ると、慎重になりすぎたり、周りの評価を気にしすぎたりで問題が解決しないことになります。

自身の知能傾向を知っているならば、意識的に考えることを繰り返し訓練することで必要な知能が身につくでしょう。そればかりではなく、自分に足りない部分を誰かに助けてもらうこともできるのです。さらに、お子さんの知能傾向を知っておけば子育てもずいぶん楽になることでしょう。

実施要項

日 程／前期 12月22日～28日 後期 1月4日～6日

開催時間／午前 10時30分から11時50分（80分）

午後 12時30分から13時50分（80分）

（年少児は午後の50分）少人数制で実施

対象年齢／年少児から中学生まで（レゴは年中児から）

費用／4,400円（内税） 在籍児 4,000円（内税）

日によっては午後2時以降のクラスがあります。

午前午後を通して受講する場合、お弁当を持たせてください。

ギルフォード

セミナーコース案内

学習能力コース

国語領域と算数領域の課題

小学校では、見えないものや触れられないもの身近でないものを想像して考える学習が増えてきます。これまで習ってきた基礎的な知識を活用する力ばかりでなく、多面的に考えたり言葉で説明する力を伸ばしておくことが肝要です。

幼児 年少	「習う」から「自ら学ぶ」へ変える「知能あそび」です。
幼児 年中	将来、算数好きやお話好きになる知能因子を盛り込んだ学習課題です。
幼児 年長	能力の差が始めるこの時期の「文字と言葉」「数と形」の学習です。
小学生低学年	文を読み、自分で考えて取り組む自律学習を目的とした課題です。
小学生高学年	「誰だって初めからは出来ない」という理由で、解き方をすぐに教えている学習能力は育ちません。分からないところを発見させて、簡単なところから順に考える習慣を身につけるカリキュラムです。

創造性を刺激する

プレイフルプロジェクト

レゴのブロックやロボットを使って「科学あそび」を楽しみましょう。初めての参加で不安な場合は、お子さんの興味の方角などを伺って対応します。作品などは持ち帰れませんが写真をとっていただくことは可能です。

幼児	お客さんを乗せる楽しい乗り物を作ろう。
幼児・小学生	歯車の仕組みを見つけて、くるくる回る仕掛けおもちゃを作ろう。
小学生	びよんびよん？カエルロボット作り（動くおもちゃ作り）
小学生	生き物の動きを真似たロボットを作ろう。（エンジニアリング入門）
小学生	センサーを使って安全なクルマを発明しよう。（自動運行とプログラミング）